

はだしで学ぼう！

校庭芝生



投げて！走って！ 芝生の上で遊ぶ競い遊び

表紙の学校

目黒区立
下目黒小学校

平成18年7月
芝生化
芝生面積:1,754㎡
児童数:282人

平成25年11月25日、目黒区立下目黒小学校では、東京都教育委員会の委託事業である「芝生の上で遊ぶ競い遊び」が行われました。この事業は、芝生の上での新しい遊びの試みで、児童たちは、ポリウレタン製の柔らかい素材で作られた道具を使って、ハンマー投げや槍投げ等の動きに模した遊びを体験しました。

児童と一緒に競技に参加された若林校長先生も「芝生の校庭だから、子供たちは100%全力で体を動かしています。スライディングしてでもキャッチしようとしていましたね。」と、思いっきり体を動かせる芝生の校庭の良さを語ってくださいました。

校庭芝生化ニュースレター

2014年

1月

INDEX

- ◆それぞれの学校で築く
"芝生の強さ"とは？
たくみ
- ◆親方・匠 リレートークNo.2
- ◆芝生教材作成委員会レポート
- ◆芝生イベントレポート
芝生車座集会
- ◆芝生を活用した授業を実施しました
虫ききの会
- ◆東京都教育委員会からのお知らせ
出前芝生体験校募集
芝生の専門家派遣

それぞれの校庭で築く“芝生の強さ”とは？

練馬区立中村小学校 校庭で築いた“使える芝生”



“使える芝生”の実現へ

「校庭の芝生なので、使える芝生にしないと意味がないと考えています。」と、NGKの名川さんが話してくださいました。

これまで、校庭で様々なイベントを企画するなど、“使える芝生”を実現してきました。現在では、安定的に芝生が維持されている中村小ですが、芝生化当初は、試行錯誤の連続だったといいます。

今では、芝生が傷んでしまったときも、どのように直せばいいのか分かってきたとこのことで、これまでの経験から芝生の維持管理の方法や補植の方法を判断できるようになったそうです。校庭を利用した人たちに、

練馬区立中村小学校は、平成18年に芝生化して以来、3000㎡以上の芝生の校庭を維持し、芝生を生かした授業や児童、保護者参加のイベントの開催等、都内の芝生化校の先駆的な存在です。

今回は、中村小の芝生の維持管理を行っている中村小学校グリーンキーパーズ(NGK)及びPTAの環境委員会の役員の方々ほか、中村小の芝生に関わる皆さんにお集まりいただき、中村小における芝生との付き合い方についてお話を伺いました。

「校庭を利用したら、砂の補充などで手入れする。」ことを呼びかけ、実践しています。

また、運動会の練習等も、担当の先生にお願いして、少しずつ場所をずらして使用してもらうようにしたところ、芝生が傷みにくなりました。このように、中村小では芝生の状



取材の際、匠の櫻木さんに手入れの様子を見せていただきました。

態や校庭の利用状況を見ながら、芝生の維持管理方法のノウハウを積み重ね、「自分たちらしい芝生との付き合い方」を確立して、“使える芝生”を実現してきました。

楽しい遊びが団結力に

NGKの皆さんが、力をいれてきたことの一つとして、“芝生の校庭での楽しい遊び”があります。様々なイベントで芝生を楽しむことが、校庭芝生への理解や維持管理に参加する方々の団結力・モチベーションアップにつながっているようです。

芝生化をして7年、お馴染みとなったイベントのほかにも、昨年、星を見る会や、ラグビースクールと協力してラグビー体験教室を行うな

練馬区立
中村小学校
平成18年3月芝生化
芝生面積:3,196㎡
児童数:841人

芝生の校庭での楽しいイベント



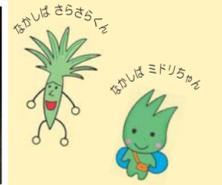
●芝生の上でお泊まりキャンプ



●芝生の上で楽しむラグビー体験教室



●芝生の上で星を楽しむ会



中村小学校の芝生キャラクター

ど、今後の新たな芝生の校庭での楽しい遊びに期待が膨らみます。

上で確立し、様々な課題を解決しながら、芝生を維持し“使える芝生”を築いています。

芝生化した学校の状況は様々ですが、それぞれの学校に適した維持管理の方法、維持管理組織の運営方法、補植方法、校庭利用の仕方があります。中村小では、これらを試行錯誤の



「校庭芝生の親方・匠」が活躍している学校です。
親方:名川一史さん
匠:櫻木 道郎さん

補植した芝生の回復記録

7月12日植え付け時の様子



7月24日の様子



写真は、夏芝のポット苗を50cm間隔で補植した部分です。12日間でこんなに広がりました！

いる学校が多くあります。
芝生の安定とは自分たちの付き合い方の確立

校庭の芝生化から2、3年経つと、学校も芝生との付き合い方がわかってきます。この頃には基本的な維持管理の方法や、補植の方法も身に付いていると思います。また芝生も根が深くなり、安定してくる頃です。学校ごとに校庭

の利用の仕方が違いますので、それぞれの校庭で試しながら、自分たちの付き合い方を確立することが重要です。特に芝生化された直後は不安なことも多いかもしれませんが、困ったことがあればお手伝いしますので、是非、都の技術支援を御利用ください。

リレートーク

校庭芝生の
親方
匠
No.2

匠
吉瀬正夫さん
南鶴牧小学校グリーンネットワーク委員長



第二回目のリレートークは、都内の芝生化校で有数の広さを誇る南鶴牧小学校の匠、「南鶴牧グリーンネットワーク(Gネット委員会)」の委員長である吉瀬さんにお話を伺いました。

「校庭芝生の親方・匠」とは

都内の校庭芝生化校で、芝生の維持管理に関して多大な貢献をされ、体制の構築や取りまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として、東京都教育委員会から認証を受けた方々です。

親方・匠のサインマークが
トレードマーク!

「芝生は夢でした」 校庭で夢を実現する 匠からのメッセージ！！

難しく考えすぎる必要なし！

「芝生は生き物ですから、芝刈りや水やりが必要ですが、基本的なことさえ、守ってあげれば、難しく考えすぎる必要はないと思います。地域の学校の芝生化に対して、僕らのように後押しする人は必ずいるはず。先生方やGネット委員会の皆さんで話し合いながら校庭の芝生を作り上げていくことには、本当にやりがいを感じています。

学校の校庭なので、子供たちが楽しく遊ぶための場所です。使えば芝生が

傷んでしまうこともありますが、それをいけなく言うのではなく、砂を入れて補修したり、マーキングをしたりして『そこは入らないでね。』と子供たちに伝えていきます。よく見ると補修している場所が分かります。夏芝は強いですよ。どんどん広がっていつの間にか150㎡以上増えたと思いますよ。」
芝生化から5年目を迎えた今年は、夏芝が密に全面広がって、昨年よりも雑草が生えにくくなり、今まで一番良い状態になったことに手応えを感じている様子でした。



「葉っぱが4枚に分けたら踏まれても大丈夫。子供たちが使えるようになります。」
これが、冬芝の生育のために養生していた校庭を開放するサイン、と教えてくださいました。

きれいな芝生！
見知らぬ人も足を止める、芝生の校庭
「このあたりはハイキングで通りかかると人も多いところ。通りがかりの方が驚いている姿を見ると、本当に嬉しくなります。」と語っていました。

「匠」のノウハウを若い人へ・・・

「後は、いかにノウハウを伝えていくか。定期的に訪れる芝生の専門業者の方からノウハウを引き出して、それを若い人に伝えるのが自分の役目です。」
現在、Gネット委員会で活躍している若いお父さんの中から、次の「匠」が生まれる日はそう遠くないようです。



南鶴牧小の芝生キャラクター“しばちゅん”
校庭開放のお知らせボードでも“しばちゅん”は親しまれています。



校庭芝生の 専門家 インタビュー



公益財団法人都市緑化機構 研究部
主任研究員 一條良賢氏

東京都の校庭芝生化の技術支援業務委託の受託者職員として、これまで数多くの校庭の芝生に技術支援をしてきた一條さんに、校庭芝生の強さなどについて、お聞きしました。

芝生の回復力を生かして それぞれの校庭での強さを！！

芝生の強さは傷んでも直せること

毎日使う校庭の芝生は、傷んで当たり前、そう思っています。芝生を維持するためには、まず芝刈り、施肥、水やりの基本的な手入れをしっかりと行ってください。特に回復策としての施肥と水やりはとても重要です。それでもダメだったら補修をすれば大丈夫です。それが校庭の芝生の強さ、維持のポイントだと考えています。
芝生の補植方法とは

小さい面積であれば挿し苗、大きい面積であればポット苗やホールカッターによる補植が有効です。パミュダグラス等の夏芝の場合、時期さえ良ければ50cm間隔で苗を植えるだけで広がり、回復していきます。夏芝が最も生長する時期である夏休み等をうまく利用して補植することがとても重要です。ノシバやコウライシバの学校でもパミュダグラスを導入してもなんら問題はありませぬし、現実にもそうして

芝生教材 作成委員会 レポート

It's New!



平成25年10月25日、府中市立四谷小学校を芝生教材作成委員会の委員が訪問し、授業の視察を行いました。視察した授業は生活科の授業で、第1学年の児童たちが、使い終わったペットボトルに砂を入れ、冬芝の種をまき、ペットボトル芝を作成しました。

芝生教材作成委員会とは？

芝生を活用した授業を行うための「芝生教材」を検討する委員会です。

ペットボトル芝生を育てよう！

① 切り取った
ペットボトル
に砂を入れる



② 冬芝の種をまく

種を軽くひとつまみして、ばらばらと播いていきます。



③ 砂をかぶせ、霧吹き
で水をかける

触ったり押さえたりせず、やさしく水をあげました。



授業の最後に感想を発表しました。

「芝生の種を初めて見た！」
「種はお米みたい！」
「自分だけの芝生を育てられるなんて嬉しい！」

一野澤由美校長先生のお言葉

授業として、とても良い素材をいただきました。ペットボトルの鉢は、根が張っていく様子も見えるので、芝生の成長を観察しながら、児童たちが何故？どうして？と自分で説明していく力を養うことにつながると考えています。保護者の方にも興味を持っていただくために、ペットボトルは家庭で用意していただきました。



数週間後・・・
成長した冬芝です。今回は花壇に植えました。校庭の芝生の補植に用いることもできます。

府中市立 四谷小学校

平成25年4月芝生化
芝生面積:3,026㎡
児童数:638人



芝生 イベント レポート

東京都教育委員会では、芝生の維持管理に対する不安や疑問解消のために、日頃芝生の維持管理に携わっている皆さんの声をお聞きし、お伝えする場として「芝生車座集会」を開催しています。今回は、今年度第2回と第3回の参加者皆さんの声から、芝生の維持管理活動を長く続けていく秘訣について御紹介します。

8月24日 平成25年度 第2回 芝生車座集会



「しばりん通信」で 気軽な参加を呼びかけ

第2回芝生車座集会は、葛飾区立東金町小学校の維持管理作業日に開催し、芝生の維持管理を行っている地域の団体「東金町小グリーンキーパーズ」の皆さんにお話をお伺いしました。

「しばりん通信」6年間で50号達成

東金町小グリーンキーパーズの活動を支えるのが、地域コーディネーターの上田さんが発行する「しばりん通信」です。平成20年度の発行から、発行回数が6年間で50号を超えました。

「しばりん通信」では、活動スケジュールや活動報告とともに、維持管理に活動した参加者の写真が、楽しいコメントとともに、掲載されています。

「出欠連絡必要なし、誰でも参加できます、遅れても大丈夫です！」と児童、保護者、地域の方に気軽な参加を呼びかけています。また年間を通じて参加が多かった方には、「感謝状」を渡す工夫もしています。

「芝刈りは大変だけど、広い校庭の芝生がきれいになった様子を見ると、狭い場所では得られない達成感を感じることができます。これは、家の庭などでは感じられないでしょ



葛飾区立
東金町小学校
平成21年1月芝生化
芝生面積:1,741㎡
児童数:219人

う。」と、地域の方がおっしゃっていました。

気軽な参加をベースに、芝生の校庭での活動が、地域に根付いているようです。

9月14日 平成25年度 第3回 芝生車座集会

多くの人の手で少しずつ芝刈りを

今年度の最終回の芝生車座集会では、昭島市立武蔵野小学校の第2回芝生フェスティバルの日に開催し、武蔵野小の芝生の維持管理を行っている保護者、自治会、地域の住民等で構成された「むさしのグリーンキーパー」の皆さんにお話をお伺いしました。

短時間・頻繁な芝刈りで密度の高い芝生を

武蔵野小の維持管理には、大勢の人が少しずつ関わっていることが大きな特徴です。まずは、月、火、木、金



児童たちは、月・火・木・金の毎日20分間、校庭の1/4ずつ芝刈りをします。1週間で校庭全体の芝刈り完了！

で校庭を4分の1に分けて、教員、PTA、地域の皆さんが分担して、芝刈りをします。時間は午後3時25分から45分までの20分間と短時間です。次に土日は校庭を利用した社会教育団体が、利用後に芝刈りをします。さらに、児童たちも、掃除の時間を使って芝刈りを行います。

このように多くの人が頻繁に芝刈りを行うことによって、武蔵野小の芝生は、密度の高い良い状態に維持されています。

昭島市立
武蔵野小学校
平成22年8月芝生化
芝生面積:3,765㎡
児童数:561人



「芝刈りを通じて、地域の方々とのつながりが密接になったと感じています。」と先生方が話してくださいました。さらに五十嵐校長は、「芝生化によって児童のけがが少なくなる等、大きな効果を実感しています。また、芝生があることで注目を集めていることは学校や地域の皆さんの誇りです。これからも芝生を誇りに守っていきましょう！」と、続けて話してくださいました。

芝生を活用した授業を実施しました

校庭の秋の虫とふれあおう！ 虫ききの会

秋の芝生の校庭は、虫たちの声があふれています。
芝生化された校庭に集まる秋の虫を知ること、身近な自然である芝生の校庭の中から秋を見つけ、校庭の芝生に親しみをもってもらうため、東京都職員が、「日本鳴く虫保存会」の協力の下に出張授業をしました。
本授業は、四谷第六小学校の第2学年の生活科の授業として行われました。

新宿区立
四谷第六小学校
平成21年6月芝生化
芝生面積：1,239㎡
児童数：232人

「校庭芝生の親方・匠」が活躍している学校です。
親方：高橋英明
校長先生
匠：小川正治さん

授業の展開

1 文科省唱歌『虫のこえ』の視聴

視聴後に、『虫のこえ』に登場する虫を紹介

「この虫のこえは聴いたことあるかな？」
元気にクイズに答えます。



2 校庭の虫の音を聴く・校庭にいる虫を知る

実際に夜の校庭で録音された虫たち（アオマツムシ、カネタタキ、ツツレサセコオロギ、シバズ）の音を聴き、虫の種類を知る。



3 虫とふれあおう・ふりかえりシートの記入・まとめ

実際の虫の姿かたちを観察。ふりかえりシートを記入し、お気に入りの虫を発表

「秋だから茶色いかな？」
じっと虫を観察する児童たち



東京都教育委員会からのお知らせ

「出前芝」体験校を募集中！

— 出前芝は、学校の費用負担なく気軽に天然芝を体験できる制度です —

募集は随時行っています。今年度の設置は、芝生の生育が活発になる春先から行う予定です。この機会に、児童・生徒へ「緑のじゅうたん」をプレゼントしてみませんか？

芝生出前事業

- 電話にてお申込みを受け付けています。
(対象：都内の公立小中学校)
- 校庭の土の部分に、100㎡～150㎡の芝生を設置します。
- 設置した芝生は、一定期間設置した後に撤去することも可能です。
- 芝生と併せて、散水用のスプリンクラーと芝刈り機もお届けします。

一校庭芝生化推進担当 電話(03)5388-3567 まで、お気軽にお問合せくださいー

Interview 出前芝活用校の声

練馬区立豊溪小学校
山口 義一 校長先生

平成25年9月出前芝
芝生面積：147㎡
児童数：365人

何より、子供たちの遊び方が変わりました。友達と一緒に寝転がったり、逆立ちしたり、友達とふれあう遊びは、土の校庭では見られなかったことです。今後、もっと芝生を広げたいと思っています。



“芝生の専門家”を御活用ください！

— 東京都教育委員会では、校庭芝生化の技術的な支援事業を実施しています —

- 相談窓口 芝生化の計画段階、実施後の維持管理面などの相談を受け付けています。
- 専門家の派遣 芝生の専門家が、現地で各学校の事情に応じた助言等を行っています。
- 実地講習会の実施 学校やボランティア向けの実地講習会を開催します。
【講習内容例】①施肥 ②目土 ③補修 ④ウィンターオーバーシード等

申込み・お問合せはこちらまで
公益財団法人都市緑化機構
(担当：一條、今井)
電話 (03) 5216-7191
ファクシミリ (03) 5216-7195

東京都 教育委員会 校庭芝生化推進事業 — 全ての児童・生徒に芝生を！ —

東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 〒163-8001 都庁第二本庁舎27階北側 電話(03)5388-3567 ファクシミリ(03)5388-1734
東京都教育庁地域教育支援部義務教育課 校庭芝生化推進担当

